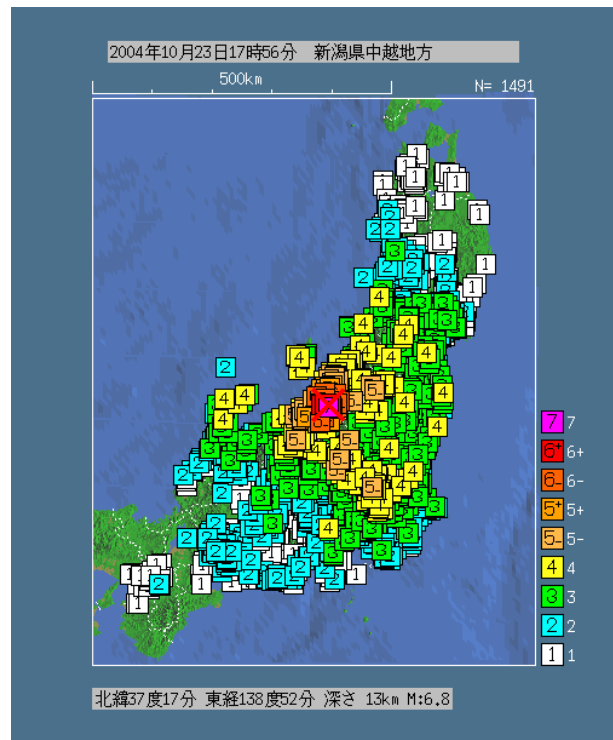




新潟県中越地震について - 被害とその後 -

この度の新潟県中越地震で被災された方々
 に対しお見舞い申し上げますとともに、余震
 が続く中、業務再開に向け復旧作業を続けら
 れた皆様に敬意を表します。

さて、本誌を借りまして、北陸地方整備局
 営繕部で調査を実施した官庁施設の被害状況
 等について報告します。



新潟県中越地震 震度分布図

気象庁ホームページ<http://www.jma.go.jp/>

地震・津波の資料 より

経 緯

- | | |
|-----------------|---|
| 10月23日(土) 17:56 | 新潟県中越地方で震度7、M6.8の地震発生 |
| 18:00 | 北陸地方整備局 災害対策本部設置(非常体制)
官庁施設及び工事現場の被害状況の情報収集を開始 |
| 18:11 | 震度6強の余震発生 |
| 18:34 | 震度6強の余震発生 |
| 19:45 | 震度6弱の余震発生 |
| 10月24日(日) | 官庁施設及び工事現場の被害状況の情報収集を継続
現地調査派遣(小千谷市方面) |
| 10月25日(月) | 現地調査派遣(長岡市方面) |
| 10月26日(火) | 現地調査派遣(小千谷市、長岡市方面) |
| 10月27日(水) 10:40 | 震度6弱の余震発生
現地調査派遣(南魚沼市(旧六日町)方面) |
| 10月28日(木) | 現地調査派遣(十日町市、魚沼市(旧小出町)方面) |
| 10月29日(金) | 現地調査派遣(長岡市方面) |
| 11月 1日(月) | 現地調査派遣(長岡市、三条市方面) |
| 11月 8日(月) | 現地調査派遣(柏崎市、上越市方面) |

注：余震については上記以外にも震度5強・5弱が十数回発生しました。

被害状況

官庁施設の建物被害（書架等の転倒及びパソコン等備品類の破損などは除く）は、北陸地方整備局営繕部で調査を実施した142施設の内、27施設で判明しました。（11月末集計時）主な被害状況としては、

内外壁及び床のひび割れ（写真2、3）

EXP-J部（ ）のずれ及び金属カバーの変形・脱落（写真4）

便所壁タイルのひび割れ・剥落

構内舗装のひび割れ・沈下（写真5）

構内排水溝、排水桝等の破損

などが挙げられます。

新潟県中越地震 官庁施設被害状況		
		(施設件数)
震度区分	市町村名	計
6強	小千谷市	2
	十日町市	2
	南魚沼市(旧六日町)	3
6弱	長岡市	12
5強	魚沼市(旧小出町)	2
	上越市	2
5弱	三条市	2
	柏崎市	1
4	新潟市	1
計		27

復旧状況

今回の地震による官庁施設の建物被害は、民間建築物や道路等の公共施設、ライフラインなどと比べて被害の程度は比較的小さく、大半の施設において業務が再開されていますが、震度6強を記録した小千谷税務署については、外壁面等にせん断ひび割れが発生し、詳細調査の結果、耐震補強を含む本格復旧工事が必要となり、現在、工事発注に向けて準備中です。

（ ）EXP-J（エキスパンション・ジョイント）とは建築物の接続方法の1つで、地震による振動に対し、建築物に生じる応力や変形性状を制御するために行われる接続の方法です。増築部と既存部との接続に用いられることがよくあります。地震によりEXP-J部がずれるのは正常に機能したことによるものですが、変形後の外部からの漏水や、金属カバーの脱落によるけがなど、二次被害に注意が必要です。

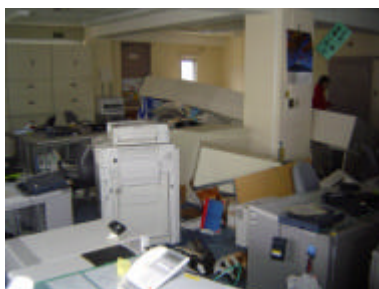


写真1 地震直後の事務室内部



写真2 内壁のひび割れ



写真3 外壁のひび割れ



写真4 EXP-Jカバーのずれ



写真5 構内舗装のひび割れ

写真1～5：北陸地方整備局営繕部が調査を実施した際、撮影した写真より抜粋。



地震に対する備えと地震時の対応について



1. はじめに

地震対策としては、事前に建物の耐震診断を行い、必要であれば耐震改修工事を実施し、建物の耐震化を図っておくことはもちろんですが、施設管理者の方が、日頃から対策をとっておくことにより被害を軽減できるものもあります。

ここでは、施設管理者の方に参考になりそうな事項について、いくつかのポイントを述べさせていただきます。

2. 地震に対する日頃からの備え

日頃から、施設を点検し、以下の対策をとるようお願いします。

外壁等で、はく落しそうな部分等を確認し、危険な部分は落下防止措置を行う。

擁壁等で、倒壊しそうな部分等を確認し、危険な部分は補強等の措置を行う。

設備機器及び配管等の固定状態を確認し、強度不足が懸念される部分を補強する。

地震を感知して自動停止するボイラーや冷温水発生機、管制制御されているエレベーター等の機能を点検し、地震時の対応方法を把握しておく。

ロッカーや書棚等の設置状況を確認し、転倒が懸念される場合は固定措置を行う。

テレビ等の重い物や書類等の不安定な物が高所に置かれている場合は、固定するか、安定して置ける場所へ移動する。

避難通路や階段等への誘導表示は適切か、避難上障害となる物が置かれていないか等について確認し、支障がある場合は改善する。

3. 地震時の対応

地震の際、特に危険なのは火災の発生であり、如何に早く火の始末及び出火の抑制を行うかが重要です。下記事項への対応をお願いします。

使用していたコンロや湯沸等の火を消すとともに、ガスの元栓を閉める。

使用していた電気器具のスイッチを切る。油、ガス、薬品等の危険物が漏れ出していないか確認し、漏れ出している場合は応急処置を行い、周囲の可燃物等を除去する。

4. 地震直後の点検と措置

地震後、施設の安全性等について点検を行い、状況によっては、施設及び施設周辺への人の立ち入りを禁止したり、建築物・設備等に対し応急処置をとらなければならない場合があります。

施設に関することは、まずは北陸地方整備局営繕部、または金沢営繕事務所にご連絡くださるようよろしくお願いします。

5. 終わりに

最後になりましたが、これらの建物に対する留意点とともに、防災計画等を確認し、非常時に十分な対応ができるように心掛けて下さい。

庁舎等の耐震化に関し質問等がある場合には、北陸地方整備局営繕部、または金沢営繕事務所までご連絡下さい。
本ページ作成に際しては、中部地方整備局営繕部ホームページ掲載の「保全通信」を参考としました。



Q & A・・・地震後の庁舎のチェックポイントについて

Q：地震後の庁舎のチェックポイントについて教えてください。



A：地震後、庁舎がどのような被害を受けたのかを確認するにあたっては、まず庁舎に立ち入っても問題がないかを判断する必要があります。そこで建築の専門知識のない方でもできる確認方法の一つを紹介します。

外付けの設備機器などの落下に注意しながら建物の外周部を見回して下さい。そして柱や壁にX字状のひび割れがあるかを確認して下さい。地震によって生じるひび割れには図のような曲げひび割れとせん断ひび割れがありますが、柱や壁にX字状に出るのはせん断ひび割れです。このせん断ひび割れの有無が1つのポイントとなります。発生している場合は「被災建築物応急危険度判定」における「要注意」に相当することが考えられます。できるだけはやいうちに、専門家の判断を仰ぐようにして下さい。

公共建築相談窓口

北陸地方整備局 営繕部 計画課

TEL 025-266-1171(代表)

FAX 025-267-5041

e-mail pb-soudan@pop.hrr.mlit.go.jp

北陸地方整備局 金沢営繕事務所 技術課

TEL 076-263-4585(代表)

FAX 076-231-6369

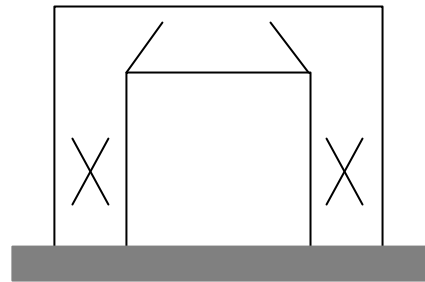
受付時間 午前9:00～午後5:00

(土日、祝日、年末年始を除く)

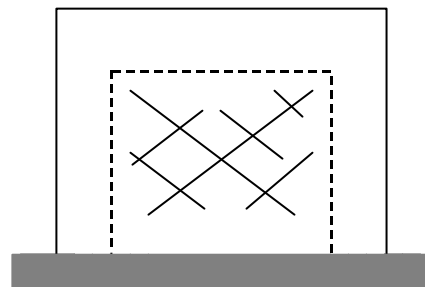
eメール、FAXは24時間受付

このQ & Aは、皆様からの質問・相談等を元につくっていきたいと考えています。

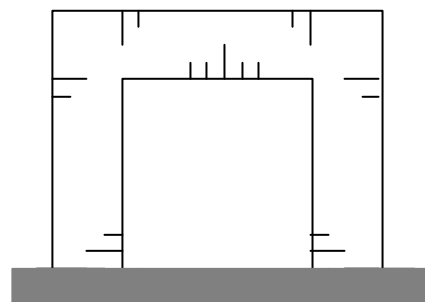
質問・相談等ありましたら、どうぞお気軽に「公共建築相談窓口」までご連絡ください。



せん断ひび割れ(柱・梁)



せん断ひび割れ(壁)



曲げひび割れ

図 構造体の構造ひび割れの状況



第9回公共建築賞の表彰式が行われました



新潟市民芸術文化会館 空撮

1. 第9回公共建築賞について

第9回公共建築賞の受賞建築物5点が、以下のとおり決定し、11月11日の「公共建築の日」に、東京にて表彰式が行われました。

公共建築賞（国土交通大臣表彰）

〔文化施設部門〕 新潟市民芸術文化会館

〔行政施設部門〕 神戸税関本関

〔生活施設部門〕 公立はこだて未来大学

公共建築賞特別賞（官庁営繕部長表彰）

馬頭町広重美術館 島根県立美術館



神戸税関本関

2. 公共建築賞について

公共建築賞は、国土交通省所管の社団法人公共建築協会が、国土交通省、全国知事会、全国市長会及び全国町村会の後援を得て1年おきに実施しているものです。

優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的としたもので、ひろく公共建築のあるべき姿についての意識を啓発し、より優れた公共建築を生み出すことに役立たせたいというものです。数ある建築賞の中で公共建築賞の特徴としては、公共建築を対象としていることのほか、評価の基準として、設計・施工が優れているということのみでなく、地域社会への貢献や施設の管理・保全といった視点からも評価を行うこととしており、そのため竣工後3年以上経過したものを対象としています。



公立はこだて未来大学

3. 北陸地区の受賞建築物

なお、これらに先立ち6月に公共建築賞優秀賞30点が選定されています。北陸地区での受賞建築物は、新潟市民芸術文化会館、豊栄市立図書館、金沢市民芸術村の3点でした。

このうち、新潟市民芸術文化会館が文化施設部門において、今回公共建築賞（国土交通大臣表彰）を受賞したものです。（以下、講評抜粋。『新潟市民芸術文化会館は新潟の新しいシンボルとして、信濃川に面して建設された市民の芸術文化活動の拠点となる施設です。ワークショップによって合意を形成しながら

まとめ上げられ、その活動が完成後の良好な運営や高い稼働率につながっていることは特筆されます。雪国にありながら四季の変化を楽しめるガラス張りの省エネルギー建築の実現や、隣接した庭園と一体的に整備した屋上庭園など、周辺景観の形成への貢献が評価されました。』）



新潟労働局米山宿舎の施設整備について

厚生労働省「米山労働宿舎」は、平成16年3月10日に竣工しました。この事業は国土交通省が厚生労働省より支出委任を受けて実施したものです。

建設地の新潟市米山地区は、新潟駅南地区に位置し、新幹線の開通に伴い戸建住宅街として発展すると共に、幹線道路である笹出線に沿っては事務所ビル、店舗ビル等の中高層ビルが建設され、商業圏が形成されている地区です。敷地は、笹出線から100m程度離れた位置にあり、西・北側は個人住宅や集合住宅に面し、南側は事務所ビルと駐車場に面したところにあります。

設計にあたっては、住戸環境、周辺環境、冬季の影響等に配慮しました。特に、冬季の気候を考慮して、各住戸の高断熱・高气密化を図り、物干し場として利用できるサンルームを設置しています。

完成時には、入居者を支援するために機器の取扱説明、保守方法、故障時の連絡先等を分かりやすくまとめた施設保全マニュアルを作成して各住戸に配布するなど、施設の運用・保全にも配慮しています。



外 観



内 観

米山労働宿舎 施設概要

所在地：新潟市

構造規模：鉄筋コンクリート造地上4階建

延べ面積：約1789㎡

竣 工：平成16年3月



第 2 2 回官庁施設保全連絡会議を開催しました

国土交通省北陸地方整備局営繕部および金沢営繕事務所では、管内（新潟県、富山県、石川県）の各省委庁、独立行政法人、及び地方公共団体において施設管理等の業務を行っている皆様を対象に、「官庁施設保全連絡会議」を毎年開催しています。平成 16 年度は 22 回目となり、右記にて開催しました。会議は、施設保全に関する情報提供の場、施設管理者等よりの意見収集の場として活用させて頂いております。

今回の会議では、建築基準法の一部改正について、官公庁施設の建設等に関する法律の一部改正について、保全実態調査について、官庁施設の現況について、災害時応急危険度判定及び連絡体制について、等に関して情報提供させていただきました。また、会議の場において、質問・意見を何うと共に、会議内容に関するアンケートをとらせて頂きました。

アンケート結果からみると、会議の内容については、おおむね「参考になった」「部分的に参考になった」との評価を頂きました。また、今後の議題に関する要望については、右記のような結果を得ました。

北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所においては、官庁施設保全連絡会議、北陸地方整備局ホームページ、本広報誌等を用いて、施設管理に関する情報提供を行っておりますが、今後、会議での意見、アンケート結果等を元に、よりわかりやすい情報の提供を心がけていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成 16 年度 開催概要

新潟地区

- ・主 催：北陸地方整備局営繕部
- ・対 象：新潟県内に施設のある国等の機関
- ・開催日：平成 16 年 9 月 3 日（金）

- ・場 所：メルパルク新潟

- ・出席者：31 官署、42 名

石川・富山地区

- ・主 催：北陸地方整備局金沢営繕事務所

- ・対 象：石川県内、富山県内に施設のある国等の機関

- ・開催日：平成 16 年 10 月 5 日（火）

- ・場 所：金沢駅西合同庁舎

- ・出席者：39 官署、52 名

第 2 2 回官庁施設保全連絡会議（北陸）の開催概要

今後取り上げて欲しい議題

（52 名よりのアンケート結果。複数回答をして頂き、回答数の多かったものより記載。）

修繕積算	16
業務委託仕様書の作成	13
業務委託積算	13
業務委託の業者選定	11
機器更新の目安	10
保全業務全般	9
予算要求資料の作成	9
清掃のポイント	9
設備機器類の点検	8
修繕工法選定	8
保全計画の立案	7
修繕全般	7

アンケート結果の一部（金沢・富山地区）

2004年

9月3日(金)第22回新潟地区官庁施設
保全連絡会議が開催されました。

10月5日(火)第22回石川・富山地区
保全連絡会議が開催されました。

毎年11月11日は公共建築の日、11月
は公共建築月間です。各地で関連行事等が
開催されました。

2005年

1月13日(木)北陸地方整備局営繕部及
び金沢営繕事務所で整備を行った小松日の
出合同庁舎が「第6回こまつまちなみ景観
賞」を受賞しました。

小松日の出合同庁舎

所在地 石川県小松市日の出町
1丁目120番地

入居官署 小松税務署、金沢地方法務局小松支
局、小松労働基準監督署、小松公共
職業安定所、北陸農政局小松統計・
情報センター

構造規模 鉄筋コンクリート構造
(一部鉄骨造)

地上7階地下1階

延床面積：約7878平方メートル

工期 平成13年3月～平成14年10月

(賞講評)

新しい街区を形成しつつある小松駅東側地区
において、建物周囲に市民に開かれた開放的な
広場空間を設け、かつ屋外駐車場を柔らかく囲
い込む植栽の施された芝生の丘を築くなど、現
代的な街並景観形成に対する積極的な配慮がな
されている。



小松日の出合同庁舎 南東面外観



小松日の出合同庁舎 北東面外観

平成17年2月発行 通巻2号

ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/>

編集：北陸地方整備局営繕部

電話025-266-1171(代表) FAX025-267-5041

金沢営繕事務所

電話076-263-4585(代表) FAX076-231-6369

えいぜん通信@北陸は、北陸地方整備局のホームページでも読むことができます。
北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所の業務全般に関しても、北陸地方整備局のホーム
ページで紹介しております。どうぞ、ご覧ください。